

# 謹賀新年

～平成24年～

加東市議会議長

長谷川勝己



加東市長

安田正義



新年あけましておめでとうございます。みなさま方には平成24年の幕あけを健やかにお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。平素は議会活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は未曾有の国難ともいべき東日本大震災や、大型台風による豪雨等により、各地に甚大な被害が及びました。被災されたみなさまには、心よりお見舞いを申し上げます。

この災害にあたって、多くの方がさまざまなかたちで、被災地への復興支援に取り組みされたことと思いますが、その中で、あらためて人との絆の大切さ、地域社会の繋がりの重要性に気付かされるが多かったのではないのでしょうか。「安全・安心のまちづくり」をめざす加東市におきましても、住民・行政・議会が一体となって取り組むことが、何より肝要と考えております。加東市議会において、昨年から実施しております議会報告会や、今後予定しております住民の方との意見交換会などが、その一助となればと思っております。

また、ケーブルテレビに加えてインターネットでの委員会、定例会の録画配信も開始いたしました。ぜひ一度ご覧いただき、議会を身近に感じていただければ幸いです。

みなさま方のさらなるご指導とご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年がみなさまにとって健康で幸せに満ちた年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

みなさまには、平成24年の輝ける新春を、健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年の漢字は『絆』。それは、断つことのできない人と人との結びつき。昨年ほど、この言葉を耳にした年はなかったと思います。日本人一人ひとりが希望と勇気を持って、心を一つにする事の大切さを実感しています。

「画竜点睛」という故事があります。高名な画家が4匹の竜を描いたところ、そのうち、睛（ひとみ）を入れた竜だけが雷鳴電光とともに天に昇ったことから、物事を成就するため、最後に加える大切な仕上げを意味します。

今、加東市誕生から5年が経過し、新しい5年へと歩みを進めています。行財政改革のさらなる推進や、より安全安心のまちづくりへ向けた取組など、成すべき課題が多くあることは、しっかりと認識しております。

今年は辰年。市民のみなさまに愛される、加東市の象徴となる新庁舎建設工事に着手することをはじめとして、一つでも多くの竜に、みなさまのお力添えを得ながら睛を入れていき、加東市にとって、昇り竜のごとく飛翔の年となるよう、一層精励してまいります。

本年がみなさまにとりまして、飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。